

3月決戦ストライキに大勝利!



81.3.7
No. 683

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)会発 品三二七二七〇七

反動秋山体制に痛打を浴せ、三里塚・ジェット闘争 日本労働運動の戦闘的再生の大展望ひろく!

*** 全組合員の皆さん。 全国の闘う仲間皆さん。 三月決戦三・六全線ストライキは、わが勤労千葉の一条乱れぬ完璧なスト態勢をもって大勝利をかちとったことを報告する。 ***

3・6スト 首都圏・房総半島をゆるがす 闘いを打ち抜く

三・六全線ストライキは、津田沼・千葉両拠点をはじめ七拠点で始発時から一斉にストライキに突入した。

三・六ストライキは、三月決戦闘争の最大の闘いとして拠点支部はもとより一三〇〇組合員の総決起態勢の下、一条乱れぬ組織力と団結力をもって打ち抜かれ、権力・当局にわが勤労千葉の底力を見せつけ、心底から震撼させたのである。さらにこのわれわれの闘いは、全国鉄労働者はもとよりすべての労働者・人民に「立ち上げやれる」という勇気をふるいたたせ、自信を与え、三里塚ジェット闘争の勝利の展望をきりひらき、大勝利をかちとったのである。

〈津田沼拠点〉

総武線をわが手に握る津田沼支部は、約一〇〇名のろり城態勢でストライキ防衛・貫徹に決起。八時三十分、一三〇名の支部組合員が結集して決起集會が開かれ、当局の介入・弾圧・「本部」革マル分子のスト破り策動粉碎・スト貫徹にむけた意志統一をかちとり、圧倒的な構内デモを敢行。昼食までの間、電車区講習室において中江昌夫氏より勤労大改革の現状、八一春闘の展望、勤労千葉の闘いの意義について講演を受け、「助役機関士繰見阻止闘争」のハミリ映画を見る。

一方、支援共闘に結集する仲間が早朝から津田沼駅・船橋駅をはじめ各駅頭で勤労千葉支援を呼びかけるビラまきや宣伝行動を展開。

そして十六時三十分から約一〇〇〇名が結集して集會と電車区一周の激励デモを展開。

総武線を完全にわが手に握り首都圏をもゆるがした最大の拠点津田沼支部は、こうして二四時間ストを圧倒的に打ち抜いた。

〈千葉運転区〉

総武・房総のカナメ千葉運転区支部では、早く

から今日の闘いの準備が執行部を先頭に、青年部・地域班を中心に進められ、闘争体制は万全。午前零時をもってストに突入。仮眠後、午前十時より青年部集會が開かれ、前乗務員分科会長の川島昇さんの講演が行われた。川島さんからは、あのマル生当分の貴重な体験と「本部」革マル反動分子の組合民主主義をふみにじり、勤労千葉排除・破壊攻撃との闘いの経験にふまえた講演が行われた。

十三時より支部集會が開かれ、高島喜久男氏の講演をはじめ、浅田光輝氏のあいさつ、さらに繰見阻止闘争のハミリ映画が上映された。こうして二四時までのストライキは全組合員の団結力と組織力をもって完全に打ち抜かれた。

全拠点・支部で三月決戦闘争を 圧倒的に貫徹

五日目をむかえたジェット燃料貨車輸送阻止のストライキを闘う成田・佐倉両支部をはじめ、全拠点・支部における闘いは、かつてない熱気と盛り上りの中で当局・権力を圧倒して断固として闘い抜かれた。地上勤務者の減産闘争も連日、総武緩行電車二本の運休を現出する闘いはじめ各職場における闘いが貫徹された。

一方こうしたわれわれの闘いによる全線ストップの中で唯一、ジェット燃料列車のみがスト破り助役機関士と「本部」派裏切り分子によって運転されたのである。

この一点の事実によってジェット燃料貨車輸送の反労働者性・反人民性を満天下に暴露したのである。

われわれは、この三月決戦闘争の大勝利を一三〇〇組合員自身のものでして打ちかため、八一春闘勝利・国鉄三五万人体制粉碎・三里塚ジェット闘争貫徹を闘い抜こう。



2.19 佐倉

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!